

平気でウソをつくシナ人

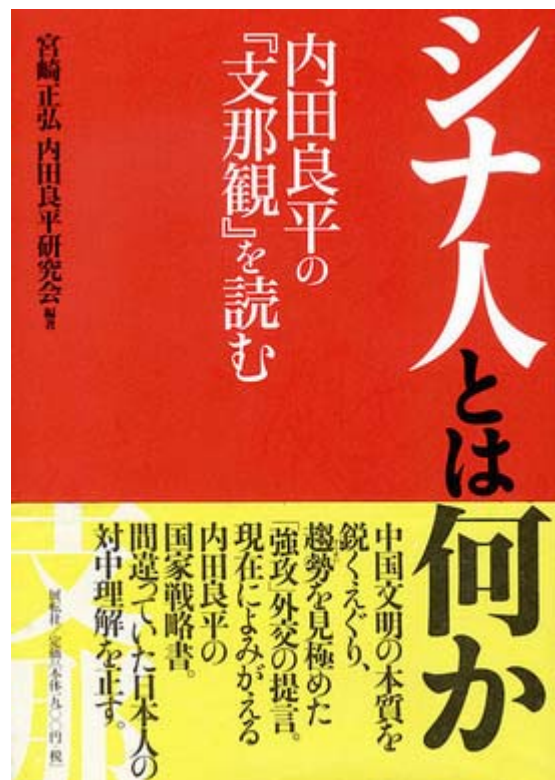
対中で被害は「中国人の国民性」と 日本人の中国観とのギャップが原因

中国問題に詳しい宮崎正弘氏と内田良平研究会編著による「シナ人とは何か—内田良平の「支那観」を読む—が先ごろ展転社から発売になりました。「やるんじゃなかった日韓併合」の講演会会場で村田春樹氏から「金を使え」と云われて求めた本ですが、いや～面白いです。一気に読破してしまいました。

中国文明の本質を鋭くえぐり、趨勢を見極めた「強攻」外交の提言。現在によみがえる内田良平の国家戦略書。間違っていた日本人の対中理解を正す、とあり、解説を池田一貴、小田内陽太、片瀬裕、高木桂蔵、田中秀雄、永山英樹、福永武、宮崎正弘、森田忠明の各氏が執筆しています。

内容は、推薦の辞・伊達宗義、第一章・激動する中国と問われる日本人の中国観、第二章・内田良平『支那観』(現代語訳)、第三章・異文明大国・中国とどう付き合うか、第四章・『支那観』研究、第五章・内田良平『支那観』(原文)からなっていて300頁の本に仕上がっています。

この本は是非中国にシンパシーを感じるという「親中派」の人に読んで欲しい内容が書かれています。「何だ、百年前も現在も全然変わらないではないか」というのが私の読後感で、大陸や半島に深く関わって大東亜戦争に踏み切った当時の状況と現在は驚くほどよく似ているな、と思ったものです。以下、高木桂蔵氏の文章から一部を抜粋して紹介します。



「シナ人とは何か」は展転社から税別1900円で全国の書店で発売中です

二、『支那観』の文明論的意義

西欧近代文明受容の日中比較という視点から

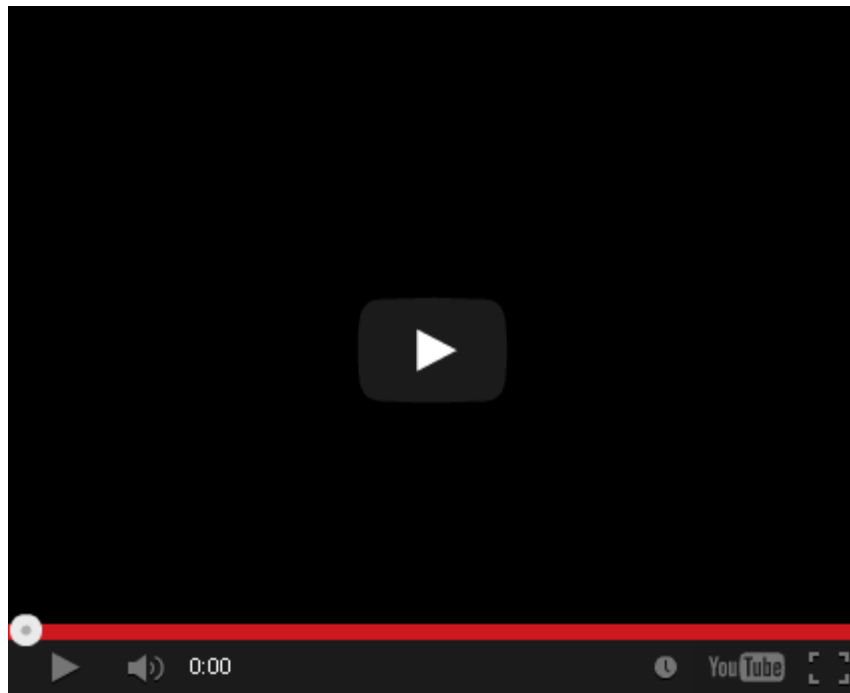
中国問題は日本の国内問題?

内田良平の「支那観」は、現在読み直してみても、中国文明論として実に生き生きしているし、その指摘は、今なおいささかも古びていないと断言できる。

「支那観」を始めとした内田の中国文明論を下敷きに、実際の中国の歴史を通観すると、中国人の特色(国民性)は次の様にまとめられる。

- 一、平気でウソをつく。
- 二、平然と恩人を裏切る。
- 三、歴史事実を故意に改変する。
- 四、約束を守らない。
- 五、身内・仲間は大事にするが、「外部」は騙す
- 六、敵を分断し、陰謀を常に仕掛ける。
- 七、自分本位に思考し、自己利益のみを追求する。
- 八、社会構成が「聖人主義」であり、平等思想を認めない。
- 九、その地位についたものは地位を利用し私服を肥やす。

筆者の長年の中国体験や華僑研究を振り返っても、これらの指摘が妥当であること示す例は枚挙に暇がない。華僑でも出身地方を問わずこれらの傾向は一般的である。



一方、これまで日本国民はその対中認識また対中行動に於いてずっと次のようなパターンをとることが多かった。

- 一、「[中国問題](#)」で常に国論が二分する。
- 二、一部で、「孔子の出た国」として、外国(異文明国)と見ず、思い入れたっぷりの情緒的な[中国観](#)を持つ者が出る。
- 三、文学と現実(特に政治)を混同して、「美しい誤解」をする。あるいは「信じたがる」者が出る。
- 四、裏切られても、駆されても、譲歩すれば[中国](#)も応分の譲歩をしてくれると信じている。

実に、日本人が、個人から国家まで様々のレベルの対中交流で結果的に被害者となるのは、以上のような現実の中国人の国民性と日本人の「[中国観](#)」とのギャップによるものだ。

近代以来の日本の様々な[中国](#)との外交や戦争での失敗の大半もこのようなギャップが原因であった場合が多い。いうなれば中国問題とは、半ば「日本人の対中国観」という日本の国内問題であることに我々日本人自身が気付かねばならないのだ。

●注目【大道無門】外国人地方参政権への反論・百地章氏に聞く 1/2 2/2

これが正しい歴史、日本が好き日本人は必見！

- ニコ動画版 凜として愛 [ニコ1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- you tube版 凜として愛 [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#)
- 誇り～伝えよう日本のあゆみ～ [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- 日本の童謡をいつまでも ふるさと—JAPAN

英語CHINA、[フランス](#)ではシノ、イタリアでチーノ、なぜ日本だけがシナと書くといけないのでしょうか？

2009/11/05 12:02

これは一種『言論の自由』にかかわる事件です。
というわけで拙編著『シナ人とは何か』は新聞に広告が載らないことになりました。

宮崎正弘 + 内田良平研究会 編著
『シナ人とは何か 内田良平の『支那観』を読む』(展転社)
(定価1995円、送料無料。アマゾンの申込先 ↓)
<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4886563406>

読者の皆さん、普及にご協力ください。
この本は『内田良平文書』(古書店で23万円します)のエッセンスであるシナ論原文も併載し、分かりやすく森田忠明氏が現代語に翻訳し(名訳です)、さらに多くの論客が解説をした画期的な内容の、古典としても十分通用する書籍です。

お近くの図書館に購入希望のリクエストをだしていただくとか、書籍普及のためにご協力を仰ぎたいと存じます。

**

以上 宮崎様のメルマガより転載

シナって呼び方が差別????????????????

おいおい、産経、おかしいぞ。
シナはれっきとしたチャイニーズの日本語の呼称だぞ。
産経なら分かってる社内の人間も多いはず。

れっきとした言論弾圧ですね。



Commented by [花うさぎさん](#)
To [yuukokushaさん](#) こんにちは。

>そういえばこの本は産経新聞紙上で広告拒否された本でもあります。

へえ~知りませんでした(^^;)。

>表題の「シナ人」がいけないそうです。侮蔑語と認識されているのがマスコミ業界ゆえに「シナ」と冠されて書物は広告もいけない。

支那人を「シナ人」と書いて何が悪いのでしょうかね?。本当のことではないですか。

>れっきとした言論弾圧ですね。

支那中共に媚びへつらう醜い言論空間ですね。皆さん、この本面白いですよ、是非買いましょう(^^)。



Commented by [すずめめだかさん](#)
図書館にこの本リクエストしました。

2009/11/05 15:53

宮崎氏は講演も面白い、ぐいぐいと引き寄せられます。



Commented by [花うさぎさん](#)
To [すずめめだかさん](#) こんにちは。

2009/11/05 16:10

>図書館にこの本リクエストしました。

おっ、早速ありがとうございます(--)

>宮崎氏は講演も面白い、ぐいぐいと引き寄せられます。

残念ながら宮崎氏の単独の講演会ってまだ機会がないのですよ。メルマガは凄いですね、良く連日あれだけ配信できるものだと本当に感心します。

2009/11/05 19:22



Commented by **花うさぎ** さん

・イベントガイド2

横田 早紀江 母の訴え 東京特別集会
聞き手・[櫻井よしこ](#)、コーディネーター・西岡力

横田めぐみさん拉致から11月15日で32年。平成9年、めぐみさん拉致が発覚以降、まさに身を粉にして救出運動を行ってきた横田早紀江さん。東京の集会ではここ数年、じっくり話を聞く機会がありませんでした。今回は、[櫻井よしこ](#)さんを聞き手として、「今、言っておきたいこと」を存分に話していただきます。

日 時 平成21年11月17日(火)午後6時半～8時半 開場6時

場 所 文京区民センター3階3A(03-3814-6731)

文京区本郷 4-15-14 春日町交差点前

都営三田・大江戸線、春日駅徒歩2分、地下鉄丸の内・南北線、後楽園駅徒歩5分、[JR](#)中央線、水道橋駅徒歩15分

参加費 1000円(事前申込み不要)

主 催 [救う会](#)全国協議会

連絡先 [救う会](#)事務局 03-3946-5780 FAX03-3946-5784

〒[112](#)-0013 東京都文京区音羽1-17-11-905

info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>